

HiKOKI

コードレスドライバドリル

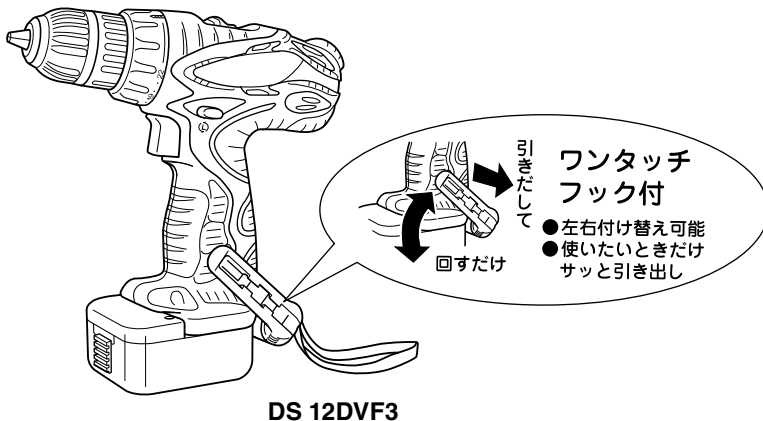
無段変速

12 mm **DS 12DVF3**

10 mm **DS 9DVF3**

取扱説明書

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書を良くお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



フックの詳しい使い方は、19 ページを参照してください。

本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

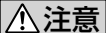
This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

目 次

	ページ
コードレス工具の安全上のご注意	2
コードレスドライバドリルの使用上のご注意	6
各 部 の 名 称	8
仕 様	9
標 準 付 属 品	11
別 売 部 品	12
用 途	13
蓄電池の取りはずし方・取付け方	14
充 電 方 法	15
ワンタッチフックの使用方法	19
ビットホルダの使用方法	21
使 い 方	22
使用範囲と注意事項について	27
締付け力の選定	28
保 守 ・ 点 検	29
ご修理のときは	裏表紙

警告、 注意、 注 の意味について

 **警告** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 **注意** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

 **注** : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、 **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてを良くお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

- ① **専用の充電器や蓄電池を使用してください。**
この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。
指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。
- ② **正しく充電してください。**
 - 充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源、エンジン発電機、昇圧器などのトランス類では使用しないでください。
異常に発熱し、火災の恐れがあります。
 - 充電器の使用温度範囲外では、蓄電池を充電しないでください。正しく充電されないばかりか、蓄電池の寿命が短くなります。
また、破裂や火災の恐れがあります。
 - 蓄電池は、換気の良い場所で充電してください。充電中、蓄電池や充電器を布などでおおわないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - 使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電や火災の恐れがあります。
- ③ **蓄電池の端子間を短絡（ショート）させないでください。**
釘袋などに入れると、短絡（ショート）して、発煙・発火・破裂などの恐れがあります。
- ④ **蓄電池の内部に、水のような導電性の液体を入れないでください。**
発熱・発火・破裂の恐れがあります。
- ⑤ **感電に注意してください。**
ぬれた手で、充電器の電源プラグに触れないでください。
感電の恐れがあります。
- ⑥ **作業場や保管場所の周囲状況も考慮してください。**
 - 工具本体・充電器・蓄電池は、雨の中や湿った場所で使用したり、放置・保管をしないでください。感電や発煙の恐れがあります。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
 - 可燃物、可燃性あるいは腐食性の液体やガスがある所での使用・充電・保管をしないでください。発火や火災の恐れがあります。

⚠警告

- ⑦ **保護メガネを使用してください。**
作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
切削したものや粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。
- ⑧ **加工するものをしっかりと固定してください。**
加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。
手で保持するより安全で、両手でコードレス工具を使用できます。
固定が不十分な場合は、加工するものが飛んで、けがの原因になります。
- ⑨ **次の場合は、コードレス工具のスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。**
 - 使用しない、または、修理・調整・点検する場合。
 - 付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑩ **不意な始動は避けてください。**
スイッチに指を掛けて運ばないでください。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑪ **指定の付属品やアタッチメントを使用してください。**
この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメントを使用してください。事故やけがの原因になります。
- ⑫ **蓄電池を火の中に投入しないでください。**
破裂したり、有害物質の出る恐れがあります。

⚠注意

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **子供を近づけないでください。**
 - 作業者以外、工具本体や充電器のコードに触れさせないでください。
けがの原因になります。
 - 作業者以外、作業場へ近づけないでください。
けがの原因になります。
 - 安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
- ③ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
 - 工具本体や蓄電池を、温度が 50℃ 以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の中車内など）に保管しないでください。
蓄電池劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。

⚠注意

- ④ **無理して使用しないでください。**
 - 安全に能率良く作業するために、コードレス工具の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
 - モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。発煙、発火の恐れがあります。
- ⑤ **作業に合ったコードレス工具を使用してください。**
 - 小形のコードレス工具やアタッチメントは、大形のコードレス工具で行う作業には使用しないでください。けがの原因になります。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。
- ⑥ **きちんとした服装で作業してください。**
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
すべりやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。
回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- ⑦ **充電器のコードを乱暴に扱わないでください。**
 - コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のつがった所に近づけないでください。
 - コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、充電する場所に注意してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- ⑧ **無理な姿勢で作業をしないでください。**

常に足元をしっかりとらせ、バランスを保つようにしてください。
転倒して、けがの原因になります。
- ⑨ **コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。**
 - 安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、良く切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。
 - 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。けがの原因になります。
 - 充電器を使用する前に、電源プラグやコードを点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
 - 充電器に延長コードを使用する場合は、事前に点検し、損傷している場合には交換してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。

⚠注意

⑩ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。

スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。付けたままでは、作動時に飛び出して、けがの原因になります。

⑪ 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

⑫ 油断しないで十分注意して作業をしてください。

- コードレス工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。

⑬ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落したり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできないコードレス工具は、使用しないでください。誤作動して、けがの原因になります。

⑭ コードレス工具の修理は、専門店に依頼してください。

- サービスマン以外の方は、工具本体・充電器・蓄電池を分解したり、修理・改造をしないでください。発火したり、誤作動して、けがの原因になります。
- コードレス工具が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。ご自分で修理すると、事故やけがの原因になります。

コードレスドライバドリルの使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレスドライバドリルとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

警告

- ① 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
埋設物があると先端工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
- ② 使用中は、機体を確実に保持してください。
確実に保持していないと、けがの原因になります。
- ③ 使用中は、ビットなどの回転部に手や顔などを近づけないでください。
けがの原因になります。
- ④ 使用中に異常音や異常振動などの異常を感じたときは、直ちにスイッチを切り、点検・修理を依頼してください。
- ⑤ 工具本体、および蓄電池の端子部（蓄電池取付部）に変形が生じた場合は、使用しないでください。
蓄電池を取付けた場合に短絡（ショート）して、発煙・発火の恐れがあります。
- ⑥ 工具本体の端子部（蓄電池取付部）に、切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
 - 使用前に、端子部に切りくず、ほこりがたまっていないことを確認してください。
 - 作業中に、機体に付いた切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。
 - 使用中断時、および使用後に切りくず、ほこりが降りかかる場所に機体を放置しないでください。
短絡（ショート）して、発煙・発火などの恐れがあります。

⚠注意

- ① 工具類（ビットなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- ② 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
- ③ 穴あけ直後の錐や切りくずは高温になっているので、触れないでください。
けがの原因になります。
- ④ 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。
材料や機体などを落としたとき、事故の原因になります。
- ⑤ 細径の錐は折れやすいので注意してください。
飛散して、けがの原因になります。
- ⑥ 機体の外枠にある風穴に異物を入れないでください。
モーターがロックし、故障の原因になります。

蓄電池はリサイクルへ

蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池や製品の廃棄の際は、リサイクルにご協力いただき、お買い求めの販売店にご持参ください。

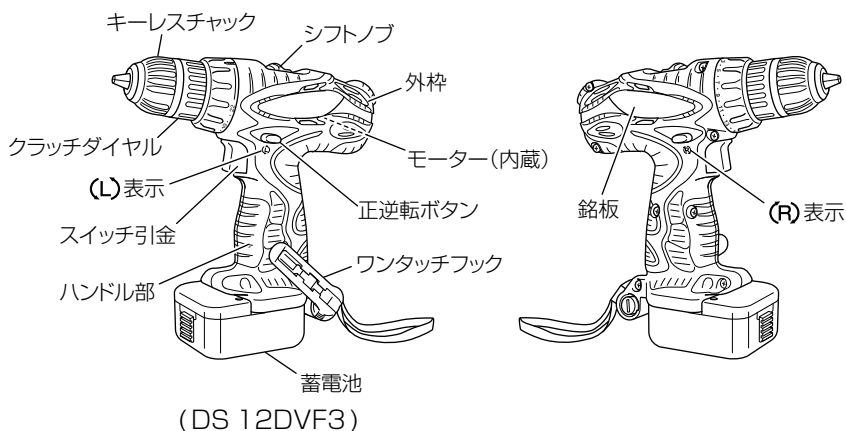


○新しい蓄電池は、弊社純正品をご使用ください

弊社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証はできません。

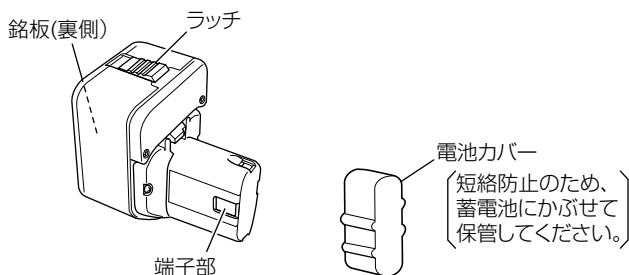
各部の名称

1. 工具本体



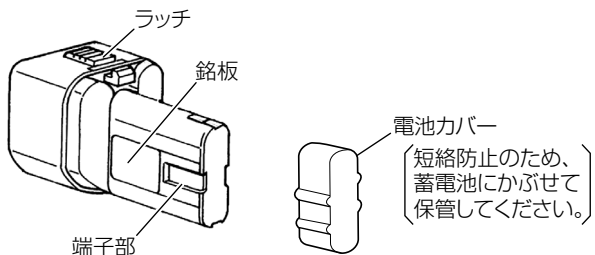
○ 蓄電池 12V (EB 1230HL)

※蓄電池別売の製品には付いておりません。別途お買い求めください。



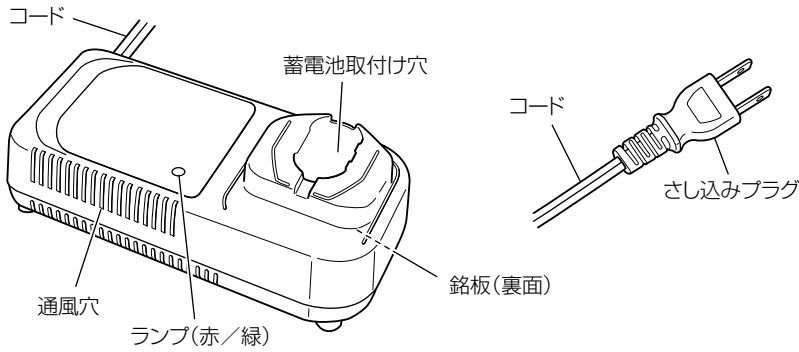
○ 蓄電池 9.6V (EB 930H)

※蓄電池別売の製品には付いておりません。別途お買い求めください。



2. 充 電 器 (UC14YFA)

※蓄電池別売の製品には付いておりません。別途お買い求めください。



仕 様

1. 工具体体仕様

		DS 12DVF3	DS 9DVF3
能 力	穴あけ	金属 (錐径): 鋼 板 12 mm アルミ板 15 mm 木材 (錐径): 25 mm	金属 (錐径): 鋼 板 10 mm アルミ板 12 mm 木材 (錐径): 21 mm
	ねじ締め	小ねじ : 6 mm 木ねじ : 呼び径 5.8 mm ×長さ 63 mm	小ねじ : 6 mm 木ねじ : 呼び径 5.8 mm ×長さ 45 mm
モ ー タ ー		直流モーター	
無負荷回転数 (気温 20℃ 満充電時)	低速	0 ~ 350 min ⁻¹ { 回 / 分 }	低速 0 ~ 280 min ⁻¹ { 回 / 分 }
	高速	0 ~ 1,050 min ⁻¹ { 回 / 分 }	高速 0 ~ 840 min ⁻¹ { 回 / 分 }
キーレスチャック 容 量	最大把握径	10 mm	最大把握径 10 mm
蓄 電 池	円筒密閉形ニッケル水素電池		
	電圧	12 V	電圧 9.6 V
質 量	1.6 kg (EB 1230HL 装着時)		1.5 kg (EB 930HL 装着時)

2. 蓄電池仕様（別売部品を含む）

(1) DS 12DVF3 の場合 (12 V 蓄電池)

	EB 1230HL	EB 1230H	EB 1220HS	EB 1220BL	EB 12S
容 量	3.0 Ah	3.0 Ah	2.0 Ah	2.0 Ah	1.2 Ah
残量表示ランプ	なし	なし	なし	なし	なし

	EB12B	EB12M
容 量	2.0 Ah	2.0 Ah
残量表示ランプ	なし	付き

(2) DS 9DVF3 の場合 (9.6 V 蓄電池)

	EB 930H	EB 920HS	EB 9S	EB 9B	EB 9M
容 量	3.0 Ah	2.0 Ah	1.2 Ah	2.0 Ah	2.0 Ah
残量表示ランプ	なし	なし	なし	なし	付き

3. 充電器仕様 (UC 14YFA)

入 力 電 源	単相交流 50/60 Hz 共用 電 圧 100 V
充 電 時 間 (気温 20℃ 時)	EB 1230HL、EB 930H……約 70 分*
充 電 電 圧	7.2 V、9.6 V、12 V、14.4 V
充 電 電 流	2.65 A
コ ー ド	2 心ビニールコード
質 量	0.6 kg
使用温度範囲	0℃～40℃

*：詳しくは、17 ページをご参照ください。

標準付属品

1. DS 12DVF3

DS 12DVF3 (2 HLFK)	- 蓄電池 (EB 1230HL) 2 個 - 電池カバー 2 個 - 充電器 (UC 14YFA) 1 台 - プラスチックケース 1 個
DS 12DVF3 (NN)	—

2. DS 9DVF3

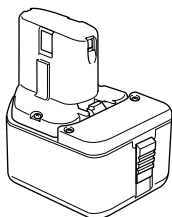
DS 9DVF3 (2 HFK)	- 蓄電池 (EB 930H) 2 個 - 電池カバー 2 個 - 充電器 (UC 14YFA) 1 台 - プラスチックケース 1 個
DS 9DVF3 (NN)	—

別売部品

……………（別売部品は生産を打ち切った場合がありますので、ご了承ください。）

1. 蓄電池

(1) 12 V 蓄電池 (DS 12DVF3 用)

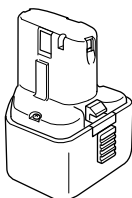


○ 予備の蓄電池としてご用意されると便利です。

形 名	EB 1230HL	EB 1230H	EB 1220HS	EB 1220BL
コード No.	0031-9730	0031-8075	0031-9731	0031-9368

形 名	EB 12S	EB 12B	EB 12M	—
コード No.	0030-6096	0031-0062	0031-0065	—

(2) 9.6 V 蓄電池 (DS 9DVF3 用)

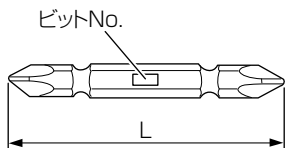


○ 予備の蓄電池としてご用意されると便利です。

形 名	EB 930HL	EB 920HS	—
コード No.	0031-8074	0031-0664	—

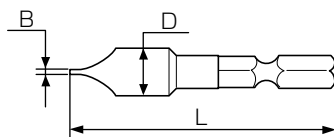
形 名	EB 9S	EB 9B	EB 9M
コード No.	0031-1684	0031-0061	0031-0064

2. プラスドライバビット



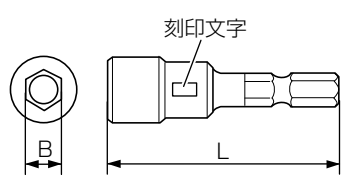
ビット No.	L (mm)	コード No.
No. 2	45	983005
	65	983006
	110	983007
	150	983008
No. 3	45	983010
	65	983011
	110	983012
	150	983013

3. ドライバビット



品 名	B (mm)	D (mm)	L (mm)	コード No.
ドライバビット 4 mm	0.8	7	50	955658
			70	955659
ドライバビット 6 mm	1	9	50	955673
			70	955674

4. ヘグザゴンビット



品 名	刻印 文字	L (mm)	B (mm)	コード No.
4 mm ヘグザゴン ソケット	7	55	7	955676
5 mm ヘグザゴン ソケット	8	55	8	955677
6 mm ヘグザゴン ソケット	10	55	10	955678

用 途

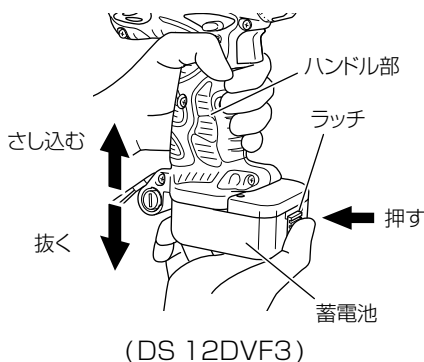
- 小ねじ、木ねじ、タッピンねじなどの締付け、ゆるめ
〔使用例〕 アルミサッシ枠の取付け、カーテンレールの取付け、コンセントやスイッチボックスの取付け、その他日曜大工における木ねじ締め
- 各種金属の穴あけ（鉄工錐をご使用ください。）
- 各種木材の穴あけ（木工錐をご使用ください。木ねじの下穴や 10 mm より小さい穴は鉄工錐をご使用ください。）

蓄電池の取りはずし方・取付け方

⚠ 警告

- 万一の事故を防止するため、必ずスイッチが切れていることを確かめてください。

1. 蓄電池の取りはずし方



工具体体をしっかり支え、蓄電池前部のラッチを押しながら抜くと、取りはずせます。

2. 蓄電池の取付け方

ラッチがハンドル部のスイッチ引金側にくるよう蓄電池の取付け方向に注意し、蓄電池をさし込みます。

充電方法

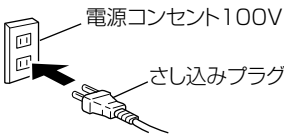
⚠ 警告

- 充電器は、必ず定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。また、昇圧器などのトランス類も使用しないでください。
異常に発熱し、火災の恐れがあります。

⚠ 注意

- さし込みプラグを電源コンセントにさし込む前に、さし込みプラグやコードに損傷がないことを確認してください。損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
感電やショートして発火する恐れがあります。

1. 充電器のさし込みプラグを電源コンセントにさし込む

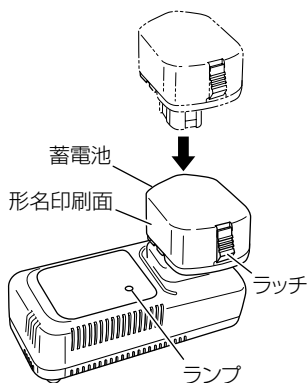


充電器のさし込みプラグを電源コンセントにさし込みますとランプが赤の点滅を繰り返します。(周期 1 秒)

注

- さし込みプラグを電源コンセントにさし込んだとき、電源コンセントがガタガタだったり、さし込みプラグがすぐ抜けるようでしたら修理が必要です。お近くの電気工事店などにご相談ください。
そのまま使用すると、火災の恐れがあります。
- さし込みプラグを電源コンセントにさし込んででもランプが点灯しないときは、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

2. 蓄電池を充電器に取付ける



蓄電池を左図に示す向きで、充電器の底に当たるまでしっかりとさし込みます。逆向きにさし込むと充電しません。

蓄電池を充電器に取付けますと充電を開始し、ランプが赤に連続点灯します。

注 ●充電するときは、蓄電池の形名印刷面が左側（ランプ側）を向くようにさし込んでください。

逆向きにさし込むと、充電できないばかりでなく、充電端子が変形して充電器故障の原因になります。

- 蓄電池をさし込んでも、ランプが赤に連続点灯しない場合は、さし込みプラグを電源コンセントから抜き、蓄電池の取付けが確実かどうか、確かめてください。

3. 充電する

(1) ランプの表示について

充電中はランプが赤に連続点灯します。充電が完了するとランプが赤の点滅（周期 1 秒）を繰り返します。

ランプの表示

ランプが赤に点灯または点滅	点 滅	0.5 秒点灯 / 0.5 秒消灯 	充 電 前	
	点 灯	連 続 点 灯 	充 電 中	
	点 滅	0.5 秒点灯 / 0.5 秒消灯 	充 電 完 了	
	速い点滅	0.1 秒点灯 / 0.1 秒消灯 	充 電 不 可	
ランプが緑に点灯	点 灯	連 続 点 灯 	充 電 完 了	充電器または蓄電池に異常あり 蓄電池の温度が高くて充電できない

蓄電池の温度が下がると緑に点灯したランプが消灯し、赤に点灯します。

(2) 蓄電池の温度について

充電可能な蓄電池の温度範囲を下表に示します。蓄電池は下表の充電可能な温度範囲で充電を開始します。

充電可能な蓄電池の温度範囲

蓄電池	充電可能な蓄電池の温度範囲	蓄電池が高温になった場合
EB 1220BL EB 12S EB 12B EB 12M EB 9S EB 9B EB 9M	- 5℃～ 60℃	ランプが緑に点灯する。 蓄電池の温度が 60℃まで下がると 緑に点灯したランプが消灯し、充電 を開始する。
EB 1230HL EB 1230H EB 1220HS EB 930H EB 920HS	0℃～ 45℃	ランプが緑に点灯する。 蓄電池の温度が 45℃まで下がると 緑に点灯したランプが消灯し、充電 を開始する。

- 注** ●蓄電池を直射日光の当たる所に長時間放置したり、使用した直後など蓄電池が多少熱をもっている場合に、すぐ充電すると充電器のランプが緑に点灯することがあります。
このようなときは、充電できないので、少し時間をおいて、蓄電池が冷えてから充電してください。
- ランプが赤の速い点滅（周期 0.2 秒）を繰り返すときは、蓄電池の取付け穴に異物が入っていないかどうか確認してください。
異物が入っていたときは取り除いてください。異物が入っていないときは、充電器または蓄電池に異常があると考えられますので、充電器と蓄電池の両方を組にして、お買い求めの販売店にご持参ください。

(3) 充電時間について

蓄電池の充電時間は次のようになります。

充電時間（気温 20℃）

蓄電池	充電器	UC 14YFA
EB 12S、EB 9S		約 30 分
EB 1220HS、EB 1220BL、EB 12B、EB 12M EB 920HS、EB 9B、EB 9M		約 50 分
EB 1230HL、EB 1230H、EB 930H		約 70 分

充電時間は、気温や電源電圧の事情により変動することがあります。

- 注** • 充電の途中で一度抜き取った蓄電池を再び充電させるときは、抜き取ってから 3 秒以上待ってさし込んでください。

これは充電器内のマイクロコンピュータが、蓄電池を抜き取ったことの確認に 3 秒程度の時間が必要なためです。時間が短すぎると充電しないことがあります。

- 一度充電が完了した後、次の充電まで 15 分程度休ませてください。

同じ充電器を連続して使用すると、充電器が発熱し、故障の原因になります。

4. 充電器のさし込みプラグを電源コンセントから抜く

コードを引っ張らず、さし込みプラグを持って抜きます。

5. 蓄電池を充電器から抜く

充電器を手で支え、蓄電池を充電器より抜き取ります。

これで充電完了です。

- 注** • 使用後は充電器から蓄電池を抜いて保管してください。

6. 蓄電池が新品のとき、または長期間保管しておいた場合の充電量について

新品、または長期間保管しておいた蓄電池は不活性状態になっているため、最初の 1 ～ 2 回は充電不足となる（充電時間が短い）場合があります。

これは一時的な現象です。充電した蓄電池を電池がなくなるまで使用し、再充電しながら 2 ～ 3 回使用すると正常に戻ります。

7. 蓄電池を長持ちさせるコツ

(1) 蓄電池が空（から）になる前に充電する

工具の力が弱くなってきたと感じたら、使い続けるのをやめ、充電します。無理に使い続けると、蓄電池が傷み、寿命を短くします。

(2) 高温時の充電は避ける

工具を使用した直後の蓄電池は熱くなっていますので、蓄電池が少し冷めてから充電します。

すぐ充電すると、蓄電池の寿命を短くします。

- 注** • 正しい充電をしても、蓄電池の使用時間が著しく低下してきたときは、蓄電池の寿命がつかたものとお考えいただき、新しい蓄電池をお買い求めください。

寿命のついた蓄電池をそのまま使用していると、蓄電池だけでなく、充電器故障の原因になります。

- 使用不能の蓄電池は廃棄せずに、お買い求めの販売店にご持参ください。

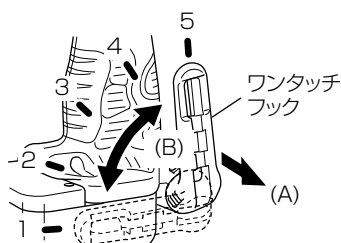
ワンタッチフックの使用法

⚠注意

- 腰ベルトに掛けて運ぶときは、ドライバビット以外は取付けないでください。錐などの先端がとがったものを取付けたまま腰ベルトに掛けると、けがの原因になります。

ワンタッチフックはハンドルの左右に取付け可能で、取付け角度を5段階に調整できます。

1. ワンタッチフックの操作方法

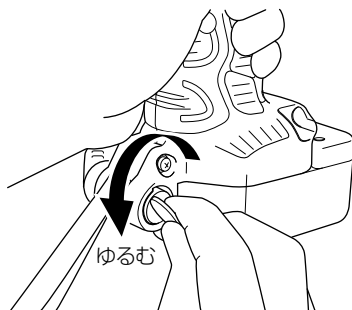


- (1) ワンタッチフックを矢印 (A) の方向 (手前側) に引き出します。
- (2) ワンタッチフックを矢印 (B) の方向に回転させます。
- (3) 1 から 5 のいずれかの位置で、フックをはなしてください。中間の位置には調整できません。

2. 左右の付け替え方法

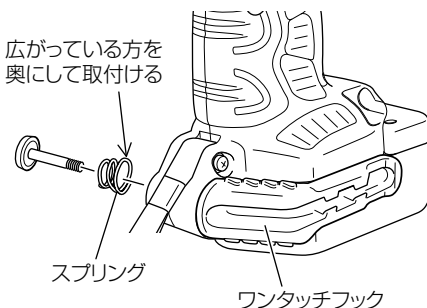
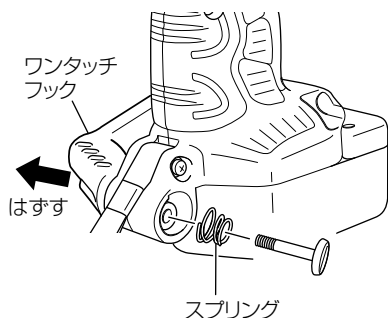
⚠注意

- ワンタッチフックはしっかりと取付けてください。フックの取付けが不完全なまま使用すると、けがの原因になります。



- (1) 工具体体をしっかり支え、コイン (10 円玉など) または、お手持ちマイナスドライバーを使用してねじをはずします。
- (2) ワンタッチフックとスプリングをはずします。(次ページの図参照)
- (3) 反対側にワンタッチフックを取付け、スプリングを入れてねじを最後までしっかりと締付けてください。(次ページの図参照)

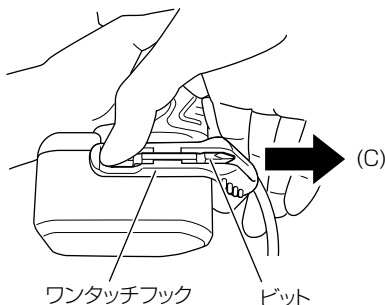
- 注** ●スプリングの向きに注意してください。広がっている方を奥にして取付けてください。



3. ビットの取りはずし方・取付け方

⚠注意

- ビットはワンタッチフックにしっかりと収納してください。
ビットの収納が不完全なまま使用すると、ビットがワンタッチフックから脱
落し、けがの原因になります。
- 弊社指定のプラスドライバビット (No.2、長さ 65 mm) 以外の太さや長さ、
形状の異なるビットは取付けないでください。
ビットがワンタッチフックから脱落し、けがの原因になります。



(1) ビットの取りはずし方

工具本体をしっかり支え、
ビット先端を親指で押しながら
ビットを矢印 (C) の方向に引き
抜きます。

(2) ビットの取付け方

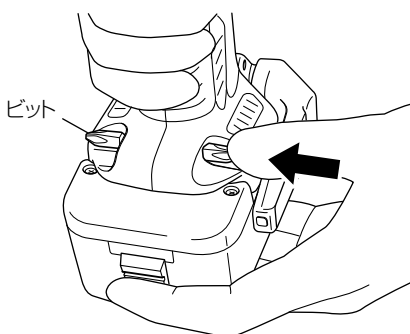
ビットの取付け方は、取りは
ずし方と逆の要領で、ビットの
先端が突き当たるまでしっかり
とさし込んでください。

ビットホルダの使用方法

⚠注意

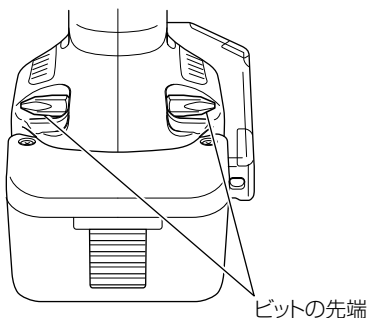
- ビットは工具本体の所定の位置に収納してください。
ビットの収納が不完全なまま使用すると、ビットが工具本体から脱落し、けがの原因になります。
- 弊社指定のプラスドライバビット（長さ 65 mm）以外の太さや長さ、形状の異なるビットは取付けないでください。
ビットが工具本体から脱落し、けがの原因になります。

1. ビットの取りはずし方



工具本体をしっかり支え、ビット先端を親指で押し、ビットを引き抜きます。

2. ビットの取付け方



ビットの先端が左図のように左右均一に出るようさし込んでください。

使 い 方

1. 作業環境の整備・確認

作業をする場所が 2 ページの「コードレス工具の安全上のご注意」にかかげられているような適切な状態になっているかどうか確認してください。

2. 蓄電池の取付けの確認

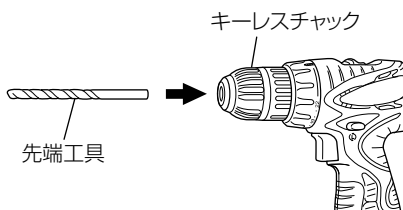
⚠注意

- 蓄電池は確実に取付けてください。
確実にないと、蓄電池が抜け落ちて、けがの原因になります。

3. 先端工具の取付け・取りはずし

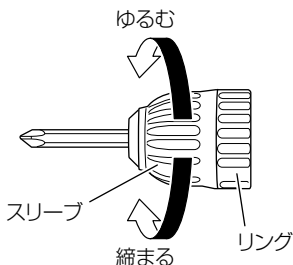
⚠注意

- 先端工具の取付けや取りはずしの際、手など身体を傷つけないように十分注意してください。



(1) 取付け方

- リングをしっかり握り、スリーブを左方向（正面から見て反時計回り）に回すとキーレスチャックのつめが開きます。（左図参照）
- ドライバビットなどをキーレスチャックに挿入後、スリーブを右方向（正面から見て時計回り）に回し、締めてください。
もし、作業中にゆるんだときは、さらに強く締めてください。スリーブを強く締めるほど把握力が大きくなります。



(2) 取りはずし方

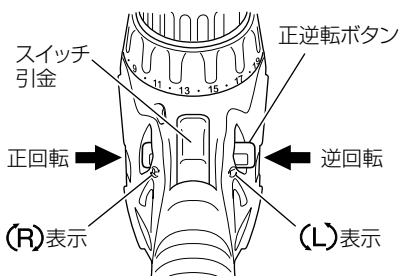
リングをしっかり握り、スリーブを左方向に回してゆるめ、取りはずします。

（次ページへつづく）

○スリーブがゆるまなくなった場合のゆるめ方

- (a) 下記の方法で、ドライバビットや木工錐などが回転しないように固定します。
- ドライバビットなどの固定例…ドライバビットなどをねじ頭に強く押しつけ固定する。
 - 木工錐などの固定例……………木片に木工錐などを強く押しつけ固定する。
- (b) クラッチダイヤルの位置を「1 ～ 11」にしてスイッチを入れ、モーターを回転させます。
- (c) スリーブを左方向に回して、ゆるめます。

4. 回転方向を確かめる



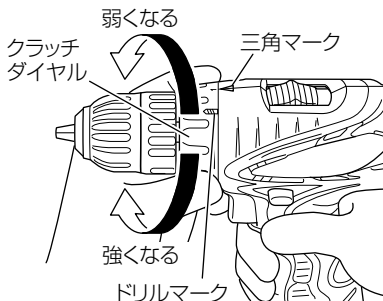
- スイッチ部の正逆転ボタンを **(R)** 表示側から押すと後側から見て右へ回り（正回転）、**(L)** 表示側から押すと左へ回ります（逆回転）。
(**(R)** **(L)** は外枠に表示してあります。)(左図参照)

- スイッチ引金の引込み量により回転数が変わります。ねじ締め開始時や、穴あけのセンター決め時には引金を少し引いてゆっくりスタートしてお使いください。
- また、引金をはなすとブレーキがかかり、すぐに止まります。

注 •運転中、正逆転ボタンの切替えはできません。切替える場合は、必ずスイッチを切ってから操作してください。

5. クラッチダイヤルの位置を確かめる

この工具体体は、クラッチダイヤル位置の調整で締付け力が変わります。



- (1) ドライバとしてご使用の場合は、クラッチダイヤルの数字「1、3、5、…、22」または点印を外枠の三角マークに合わせてください。

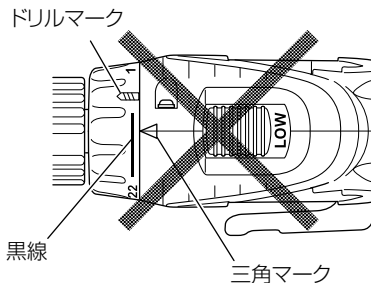
クラッチダイヤルの数字が大きくなると締付けトルクが大きくなります。最適な位置でご使用ください。

- (2) ドリルとしてご使用の場合は、クラッチダイヤルのドリルマーク「」を外枠の三角マークに合わせてください。

注 •クラッチダイヤルの数字「1、3、5、…、22」または点印の間では固定できません。

- 「22」とドリルマーク「」の中間の黒線の部分では使用しないでください(下図)。

故障の原因になります。



6. 締付け力の調整

(1) 締付け力について

締付け力は、ねじ径に応じた強さに調整してください。

強すぎるとねじが切れたり、ねじ頭を傷めるので、締付けるねじに合わせて締付け力を調整してください。(28 ページの表参照)

(2) 締付け力の表示について

締付け力はねじの種類、締付け材料などにより異なります。この工具本体は、クラッチダイヤルの数字「1、3、5、…、22」と点印で締付け力の目安を示しています。締付け力は 1 の位置が最も弱く、数字が大きくなると段々強くなります。(前ページの上図参照)

(3) 締付け力の調整の仕方

クラッチダイヤルを回し、クラッチダイヤルの数字「1、3、5、…、22」または点印を外枠の三角マークに合わせます。

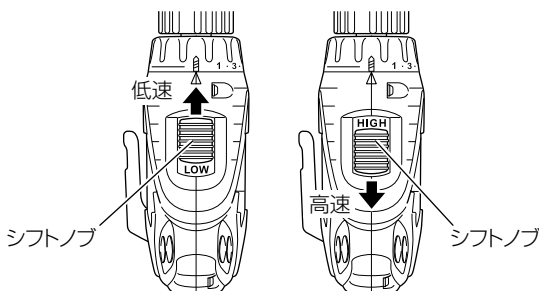
締付け力が弱いときは一段強い方に、強いときは一段弱い方にクラッチダイヤルを調整してください。

注 • ドリルとして使用の場合は、モーターの回転が停止することがあります。数秒間停止を続けると、モーターやスイッチの故障および蓄電池の寿命を著しく短くする原因になるので、モーターの回転を停止させないように使用してください。

7. 回転数の切替え

回転数の切替えはシフトノブを操作して行います。

シフトノブを「LOW」側になると低速になり、「HIGH」側になると高速になります。



注 • シフトノブにより回転数を切替える場合は、必ずスイッチを切り、モーターが停止していることを確かめてください。

モーターの運転中に回転数を切替えると、内部の歯車を傷めます。

• 大きな力が必要な作業（下表を目安にした作業）の場合は、シフトノブを「LOW」側にして使用してください。

「HIGH」側で使用すると、モーターが早期に焼損する原因になります。

	DS 12DVF3	DS 9DVF3
金属穴あけ	φ 6.5 mm を超える場合	φ 5 mm を超える場合
木材穴あけ	φ 12 mm を超える場合	
木ねじ締め	D 3.8 × 50 mm を超える場合	D 3.8 × 32 mm を超える場合

8. 金属の穴あけにご使用の場合

注 • 金属に穴をあける場合、穴のぬけざわに大きな力がかかり、錐がキーレスチャックからずれることがあります。このようなときは、機体の押し付け力を弱め、錐がずべらないようにしてください。

- 鉄工錐を使って金属に穴をあける場合は、穴あけ位置に前もってセンタポンチを打っておきますと錐先がずべらず安定して穴をあけられます。
- 金属に穴をあけるときは、ミシン油か石けん水を筆や歯ブラシの古いものなどで錐につけると、錐が長持ちします。
- 必要以上に力をかけても決して早く穴はあきません。かえって錐先を傷めて作業能率が低下するだけでなく、工具体体の寿命も短くなります。

使用範囲と注意事項について

下表に各種作業での使用可能範囲を示します。

(使用可能範囲は、穴あけやねじ締め材料の種類、硬さ、錐の切れ味などにより異なりますので、一応の目安と考えてください。)

(1) DS 12DVF3 の場合 (12 V)

作 業	クラッチ ダイヤル	使用可能範囲	注意事項
穴 あ け		鋼 材：錐径 12 mm (板厚 1.6 mm)	モーターの回転を 停止させないよう ご使用ください。
		アルミ：錐径 15 mm (板厚 1.6 mm)	
		木 材：錐径 25 mm (板厚 18 mm)	
ね じ 締 め	1 ~ 22	ねじ径 6 mm	ねじ径に合った ビット、ソケットを ご使用ください。
ナット締め		ねじ径 6 mm	
木ねじ締め	1 ~ 	呼び径 5.8 mm × 長さ 63 mm	下穴をあけてご使用 ください。

(2) DS 9DVF3 の場合 (9.6 V)

作 業	クラッチ ダイヤル	使用可能範囲	注意事項
穴 あ け		鋼 材：錐径 10 mm (板厚 1.6 mm)	モーターの回転を 停止させないよう ご使用ください。
		アルミ：錐径 12 mm (板厚 1.6 mm)	
		木 材：錐径 21 mm (板厚 18 mm)	
ね じ 締 め	1 ~ 22	ねじ径 6 mm	ねじ径に合った ビット、ソケットを ご使用ください。
ナット締め		ねじ径 6 mm	
木ねじ締め	1 ~ 	呼び径 5.8 mm × 長さ 45 mm	下穴をあけてご使用 ください。

締付け力の選定

⚠注意

- クラッチダイヤルをドリルマーク位置にしたままでボルト、ナットの締付けをしないでください。

締付け完了と同時に大きな負荷がかかって、振り回される恐れがあり、けがの原因になります。また、ボルトの破損や工具体体の故障の恐れがあります。

工具体体のクラッチダイヤル位置における締付け力と作業の目安を示します。

クラッチダイヤル位置	締付けトルク	作業の目安
1	約 1.0 N・m { 10 kgf・cm }	• 小ねじの 締付け • やわらかい木材へのねじの 締付け
3	約 1.7 N・m { 17 kgf・cm }	
7	約 2.6 N・m { 26 kgf・cm }	
13	約 3.9 N・m { 40 kgf・cm }	
17	約 4.8 N・m { 49 kgf・cm }	• かたい木材へのねじの締付け
22	約 6.0 N・m { 60 kgf・cm }	
	高速 : 約 6 N・m { 60 kgf・cm } (DS 9DVF3)	• 太い木ねじの締付け • ドリルとして使用時
	: 約 7 N・m { 70 kgf・cm } (DS 12DVF3)	
	低速 : 約 22 N・m { 224 kgf・cm } (DS 9DVF3)	
	: 約 26 N・m { 265 kgf・cm } (DS 12DVF3)	

保守・点検

警告

- 点検・手入れの際は、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。また充電器は、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。

1. ドライバビットの点検

先端部が摩耗したり折損したドライバビットを、そのまま使用すると、ねじ頭を傷めますので新品と交換してください。

2. 機体の点検

各部部品の取付けに、ガタつきやねじのゆるみがないか定期的に点検してください。

ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります
異常がある場合は、お買い上げの販売店に相談してください。

3. モーターの取扱いについて

モーター（内蔵）（P.8「各部の名称」参照）に、油や水が浸入しないよう十分に注意してください。

- 注** ●ごみやほこりを排出するため、定期的に、モーターを無負荷運転させて、湿気のない空気をハウジング後方の風穴から吹き込んでください。
モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。

4. 表面のよごれ清掃

機体の外枠のよごれは乾いたやわらかい布か、または石けん水をつけた布などでふいてください。塩素系溶剤、ガソリン、シンナー、石油、灯油類はプラスチックを溶かす作用をするので使わないでください。

5. 機体や付属品の保管

下記のような場所は避け、温度が 50℃未満で乾燥した安全な場所に保管してください。

- お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所
- 軒先など雨がかったり、湿気のある場所
- 温度が急変する場所
- 直射日光の当たる場所
- 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

メ ㇿ

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へお問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておくと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00 ~ 17:00	
●フリーダイヤル  0120-20-8822	※携帯電話からはご利用になれません。 携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。 ※長くお待ちする場合があります。 お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部	●北陸支店
TEL (03) 5783-0626	TEL (076) 263-4311
●北海道支店	●関西支店
TEL (011) 786-5122	TEL (0798) 37-2665
●東北支店	●中国支店
TEL (022) 288-8676	TEL (082) 504-8282
●関東支店	●四国支店
TEL (03) 6738-0872	TEL (087) 863-6761
●中部支店	●九州支店
TEL (052) 533-0231	TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。

<https://www.hikoki-powertools.jp/relation/sales.html>

WEBに
アクセス

バーコードリーダー機能付きの
携帯端末より読み取ることで、
最新の全国営業拠点をご確認い
ただけます。



工機ホールディングス株式会社

〒108-6020 東京都港区港南 2 丁目 15 番 1 号 (品川インターシティ A 棟)
営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <https://www.hikoki-powertools.jp>